

共働き世帯のおふろ掃除・調理などの「家事シェア」実態と意識調査
女性が誰かに任せたいトップ3は、「おふろ掃除」「食後の洗いもの」「調理」。
25～34歳ミレニアル世代男性のおふろ掃除率は45～49歳より24.6ポイント高い。

**～IoT家電を使いこなしてやりたいことは、
 男女ともに、「自分の趣味」、「子どもと遊ぶ」、「睡眠を十分にとる」～**

湯まわり設備メーカーの㈱ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金 201 億円、東証一部上場)は、1,188 万世帯となった共働き世帯(17 年度)の、おふろ掃除や調理を中心とした「家事シェア」(家事の分担)実態や意識を探るべく、調査を実施しました。

●調査結果ダイジェスト●

- ・若いほど、「おふろ掃除」も「調理」も男性(夫)の担当率が上がる。25～34歳のミレニアル世代男性が「おふろ掃除」を担当する率は45～49歳より24.6ポイント高い。
- ・いっぽう、「調理」は全世代で主に女性(妻)が担い、女性自身も約63.8%が「自分がやるべき」と考えている。
- ・女性(妻)が誰かに任せたい家事トップ3は、「おふろ掃除」「食後の洗いもの」「調理」。
- ・25～34歳のミレニアル世代家庭の3軒に1軒でIoT家電やスマート家電を導入。45～49歳の導入率はその1/5。
- ・スマートスピーカーでIoT家電を使いこなし、できた時間でやりたいことは、男女ともに、「自分の趣味」、「子どもと遊ぶ」、「睡眠を十分にとる」。

●調査概要●

調査時期 : 2019年2月25日から3月4日まで
 調査エリア : 一都三県(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)・愛知県・京阪神(京都府・大阪府・兵庫県)
 調査対象 : 25～49歳の男女で共働き世帯、子どもあり、n=404
 実施方法 : インターネットによる調査

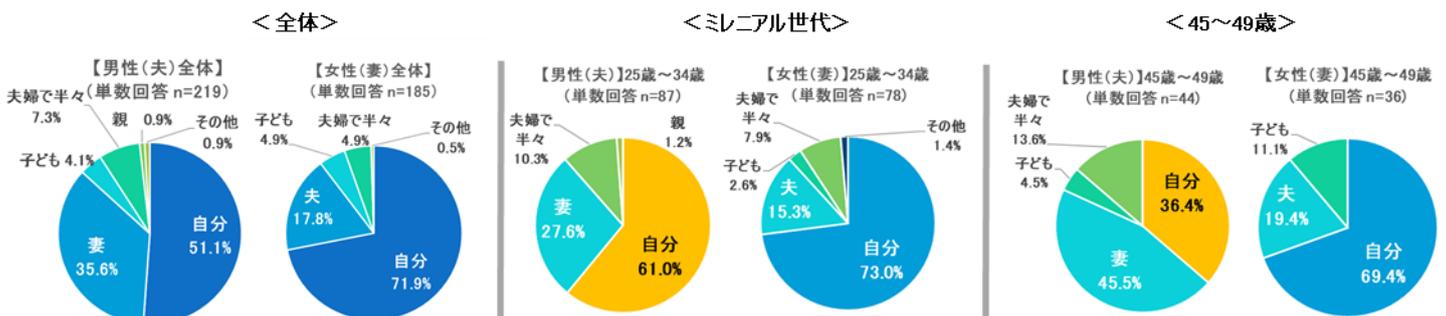
1.共働き世帯のおふろ掃除について

■若いほど、おふろ掃除も調理も男性(夫)の担当率が上がる。

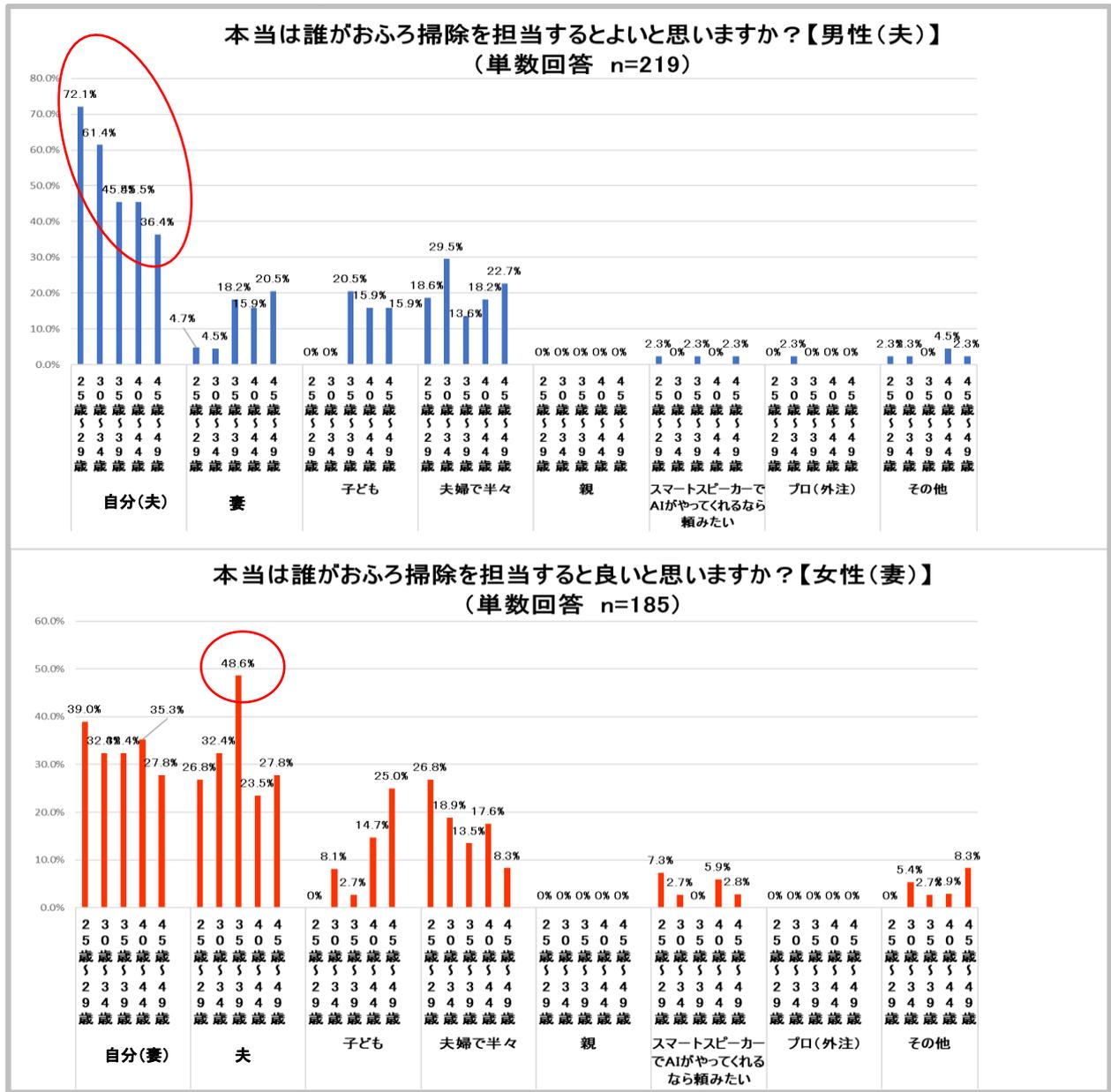
25～34歳のミレニアル世代男性がおふろ掃除を担当する率は45～49歳より24.6ポイント高い。

普段の生活の中でのおふろ掃除の担当は、男性の半数が「自分」と回答、特に、新しい感覚・行動を持つと言われるミレニアル世代の中心層25～34歳の男性では61.0%で、男性の45～49歳の36.4%に比べると24.6ポイント高くなっています。ミレニアル世代男性の間では、おふろ掃除をすることはごく日常のことなのかもしれません。

普段の生活の中でおふろ掃除は誰がしますか？

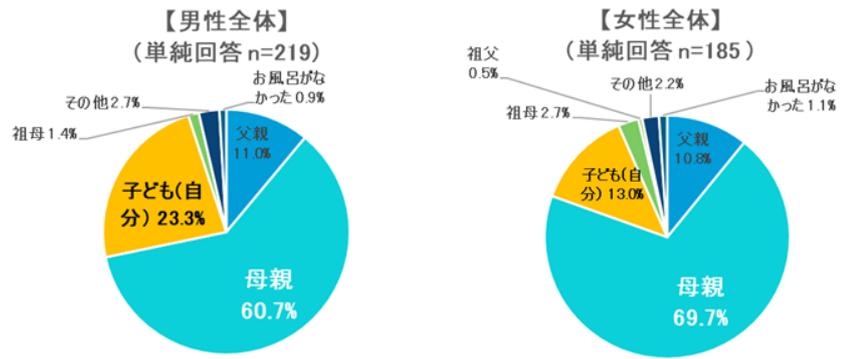


本当は誰がおふろ掃除を担当するとよいかについては、男性の25～29歳は72.1%が、30～34歳の61.4%が「自分」と回答。ミレニアル世代男性は、実態のみならず意識も高い様子がうかがえました。若くなるほど、「自分がやらねば」と考えていることが明らかになりました。女性は、35～39歳が「夫」と答える率が突出しており、子育てのピークで夫の家事参加への希望が高いことがうかがえます。



ちなみに、子どもの頃だれがおふろ掃除を担当していたかについては、男性の6割が「母親」と回答しましたが、2割が「子ども(自分)がやっていた」と回答、お手伝い経験もあることがわかりました。ミレニアル世代男性はこの経験を活かして現在おふろ掃除を行っているのかもしれませんが。

ご自身が子どもの頃は誰が主におふろ掃除をしていましたか？

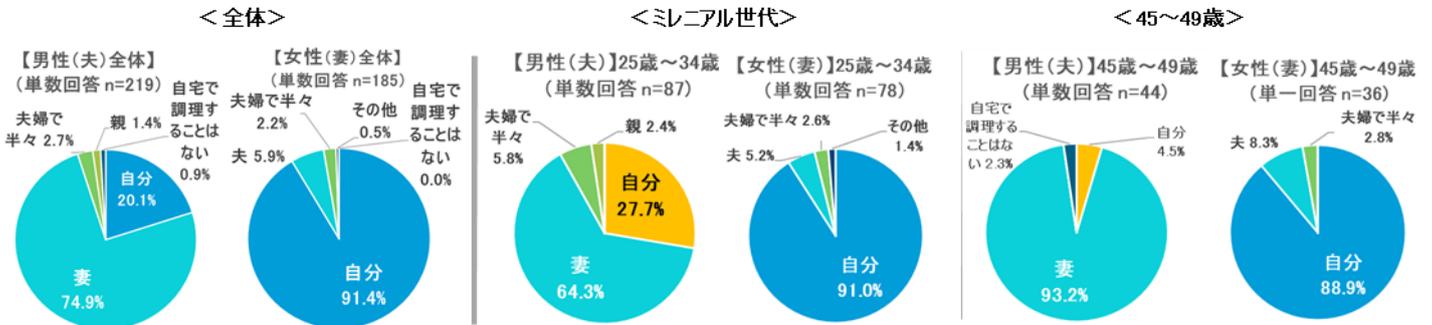


2.共働き世帯の調理について

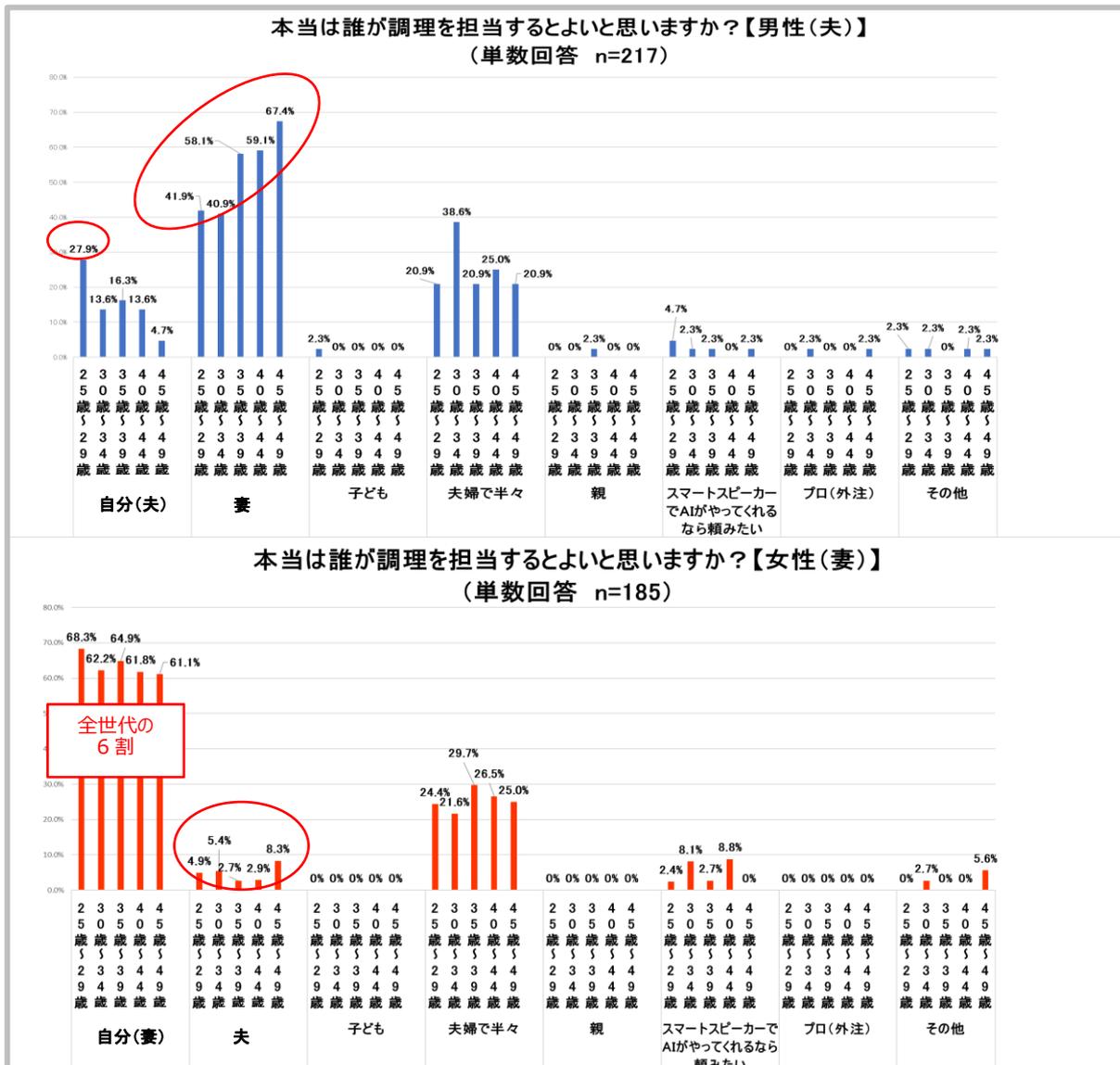
■調理は全世代で主に女性(妻)が担い、全世代で女性自身も「自分がやるべき」と考えている。

普段の調理の担当については、25歳～34歳のミレニアル世代男性は「自分」と回答する率が高い傾向がわかりました。男性の45～49歳の4.5%に対し25～34歳は27.7%と実に23.2ポイント差となりました。逆に、「妻が調理している」という回答は、年代が上がるにつれて増える傾向がありました。また、女性(妻)は、全年代通じて「自分が調理している」という回答がトップに。共働きでも、調理に関しては女性が担っている状況が浮き彫りになりました。

普段の生活の中で調理は誰がしますか？



「本当は誰が調理を担当するとよいと思いますか？」の質問に、男性は、「妻にやってほしい」という回答がトップなものの、若いほど率が下がる傾向にあります。「自分」と回答する率は25～29歳が最も高く27.9%となりました。女性は、世代を通じて「自分がやるとよい」という回答が6割以上です。食事の時間帯の在宅率や、栄養バランスの面などで、夫には任せられないのが現実なのでしょう。

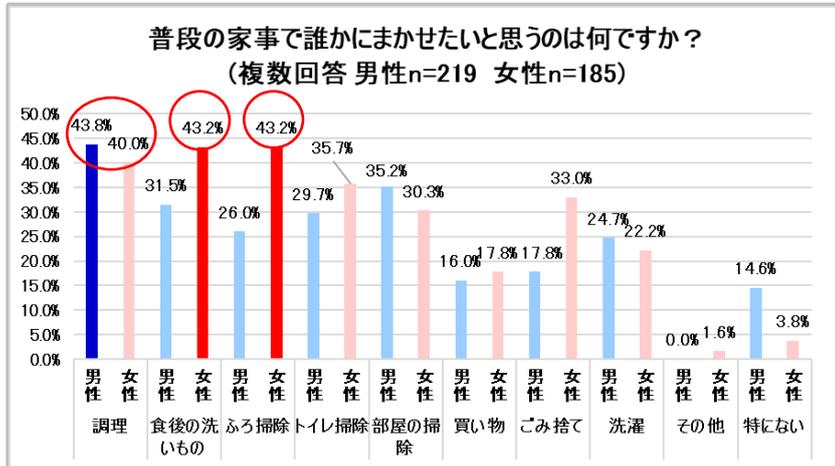


3.家事の負担軽減とIoT 機器への意識

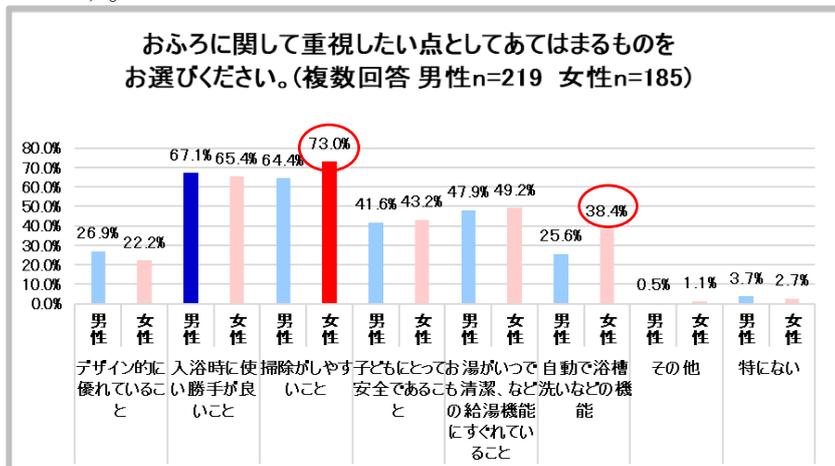
おふろ掃除と調理を誰が担っているかを見てきましたが、続いて、こうした家事の負担の軽減について、そして今注目のIoT(モノのインターネット)機器への意識を調べました。

■女性(妻)が誰かに任せたい家事トップ3は、「おふろ掃除」「食後の洗いもの」「調理」。

まず、家事に関して「普段の家事で誰かに任せたいと思うのは何ですか?」と尋ねたところ、女性のトップ回答は「おふろ掃除」と「食後の洗いもの」で同率一位、続いて「調理」が挙がりました。「おふろ掃除」は、男女全体でも約3人に1人が挙げている、誰かにやってもらいたい家事といえます。男女ともに高かったのは、「調理」でした。

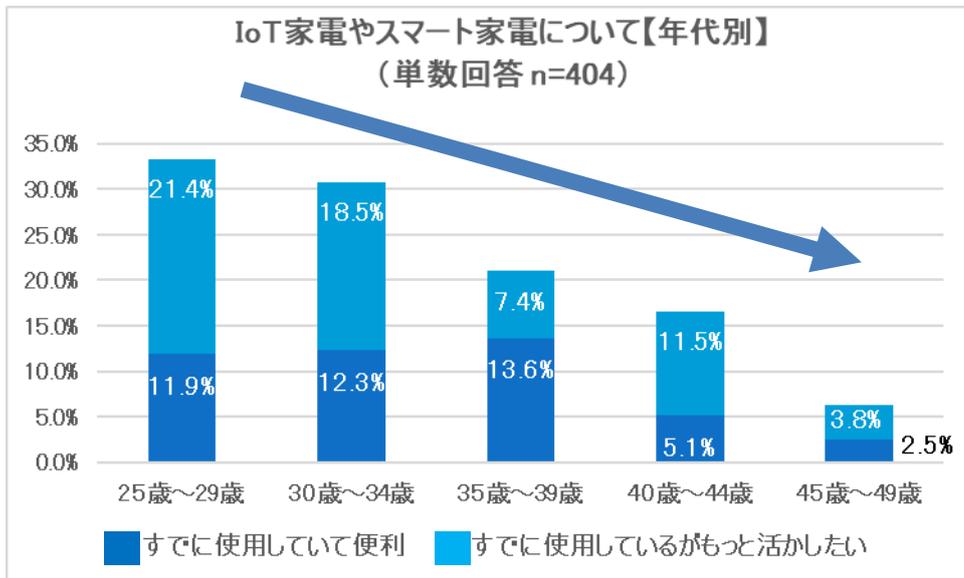


この「おふろ」に関して、重視したい点も尋ねたところ、女性のトップ回答は「掃除がしやすいこと」73.0%となり、「自動で浴槽洗いなどの機能」も38.4%となりました。この2つは、男性と比べてそれぞれ8.6ポイント・12.8ポイント上回り、他の回答よりも開きが大きいものとなりました。女性にとっては、おふろの掃除性は日常から気になっているポイントであることがうかがえます。



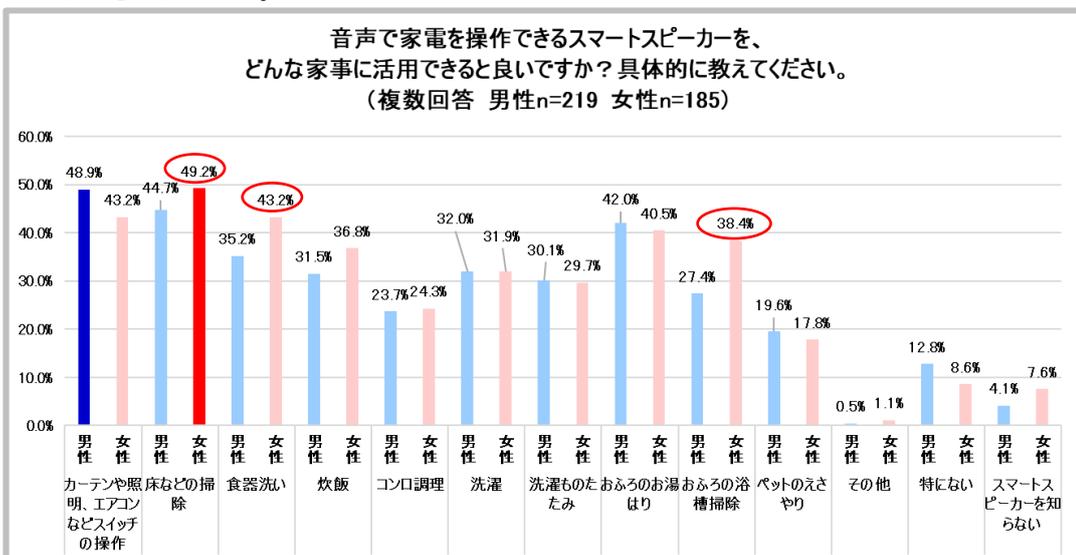
■25～34歳のミレニアル世代家庭の3軒に1軒でIoT家電やスマート家電を導入済み、45～49歳の導入率はその1/5。

現在、家事の負担を軽減する働きのあるIoT家電やスマート家電(食器洗い機や掃除ロボットなど)が話題となっていますが、実態と意識も聞きました。すでに利用している人の合計は、25～29歳が最も多く33.3%、30～34歳は30.8%と、ミレニアル世代家庭の3軒に1軒の割合で普及していることがわかりました。年代が上になるほど利用率は下がり、45～49歳では6.3%と、25～29歳の33.3%に比べ1/5近くまで落ち込みます。ミレニアル世代がIoT家電を使いこなしている様子が見えかけます。「すでに利用していて便利」と感じる割合は、35～39歳で最も高くなりました。子育てのピークで役に立っているのでしょうか。スマートスピーカー、エアコン、テレビが現在使われているIoT家電のトップ3でした。



ちなみに、「どういった IoT 家電があると便利だと思うか」と自由回答で聞いたところ、「自動で、吸盤でくっつきながら移動して、隅々までお風呂掃除してくれる家電」、「今あるもの(食材)でメニューを決めてくれる」、「洗濯から干し、たたみまでを自動でやってくれる」などが挙がっていました。

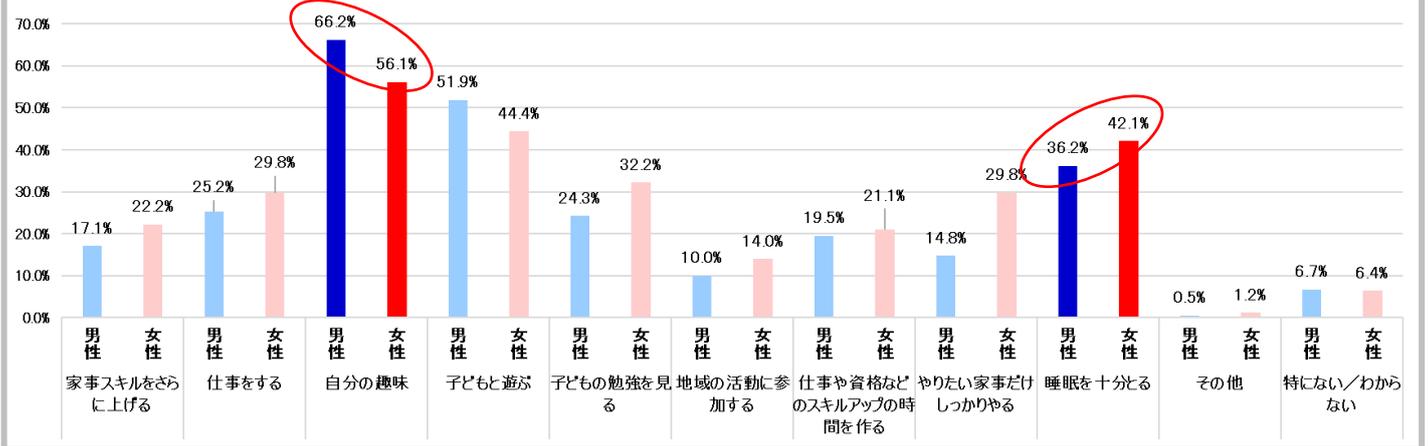
すでに共働き世帯に活用されているスマートスピーカーですが、どんな家事に活用したいかを尋ねたところ、男性の回答のトップは「カーテンや照明、エアコンなどのスイッチ操作」「床などの掃除」「お風呂のお湯はり」でした。女性は、「床などの掃除」「スイッチ操作」「食器洗い」、そして「お風呂のお湯はり」と「お風呂の浴槽掃除」が挙がり、女性のほうが「掃除」に期待が高いことがうかがえました。今後さらにスマートスピーカーでできることに関する知識が広がると、活用したい家事の幅も広がるかもしれません。



■スマートスピーカーでIoT家電を使いこなし、できた時間でやりたいことは、 男女ともに、「自分の趣味」、「子どもと遊ぶ」、「睡眠を十分にとる」。

最後に、スマートスピーカーでIoT家電を使いこなし、できた時間でやりたいことを聞いてみました。男女でトップ3が同じという結果となり、「自分の趣味」、「子どもと遊ぶ」、「睡眠を十分にとる」となりました。「子どもと遊ぶ」では、男性のほうが女性より7.5ポイント上回り、「睡眠を十分にとる」では、女性のほうが男性より5.9ポイント上回るという結果となりました。共働きで、仕事に家事に育児に同じような忙しさを抱える現代の夫婦。やりたいことの性差が縮まってきているのかもしれない。

音声で家電を操作できるスマートスピーカーでIoT家電などを使いこなし、できた時間でやりたいことは何ですか？
(複数回答 男性n=210 女性n=171)



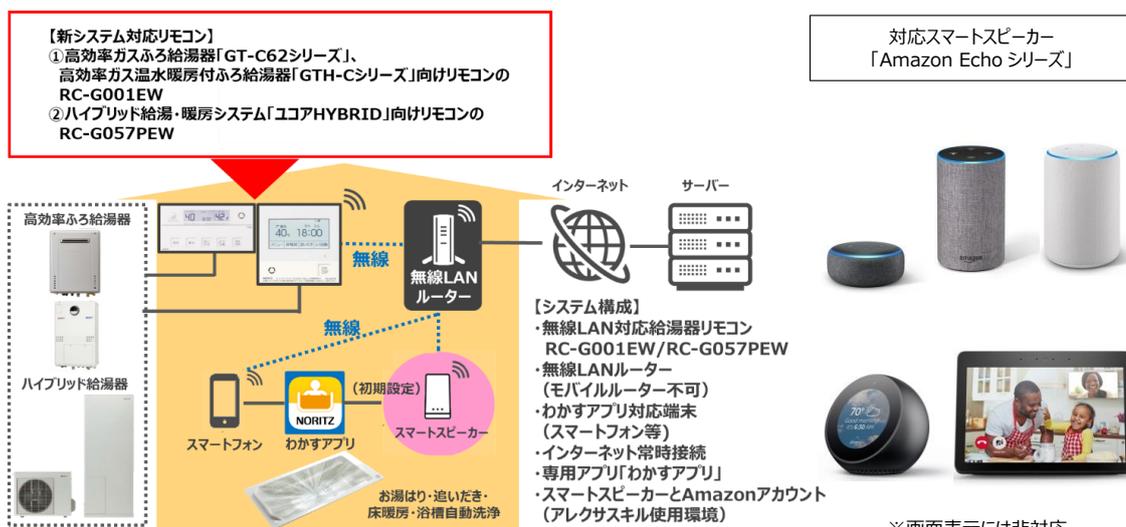
●ご参考●

ノーリツは、共働き世帯が増加し、「限られた時間で様々な生活シーンを有効に過ごしたい」というニーズの高まりを受けて、2019年3月1日から、ふろ給湯器とリモコン、スマートスピーカーを連動させることで、浴槽へのお湯はり・追いだき・床暖房に加え、浴槽の自動洗浄を音声でできる新システムを開始しております。

今回、既存のリモコンの新システムへの対応と、対応リモコンの追加発売を同時に展開。既存のリモコンに関しては、無線LAN対応給湯器リモコン「RC-G001EW」が、専用の「わかすアプリ」の更新により音声サービス Alexa (アレクサ) に対応し、「Amazon Echo シリーズ」を始めとする Alexa 搭載のデバイスを通して音声操作が可能になりました。対応リモコンの追加発売に関しては、環境・省エネ性と快適性を両立したハイブリッド給湯・暖房システム「ユコア HYBRID」用で初めてとなる無線LAN対応新リモコン「RC-G057PEW」を発売しました。

ともに、ノーリツのシステムバスに標準搭載の浴槽自動洗浄機能「おそうじ浴槽」を、音声で操作できる点が独自です。3月1日にアップデートしたスマートフォン専用アプリの「わかすアプリ」を介して初期設定を行います。すでに「RC-G001EW」を設置の方は、追加費用は不要です。

システム構成図



【参考ニュースリリース】

- スマートフォンで入浴者の“見まもり”を実現。IoT 技術を導入した無線 LAN 対応給湯器リモコン
<https://www.noritz.co.jp/company/news/2018/0424.html>
- ハイブリッド給湯・暖房システムをリニューアル。入浴事故の軽減に向けて、おふろの“見まもり機能”を搭載
<https://www.noritz.co.jp/company/news/2018/0705.html>
- 共働き世帯の負担軽減・ノーリツだけの「音声で浴槽自動洗浄」、IoT 給湯器リモコンが 3 月からスマートスピーカーにも対応、お湯はり・追いだき・床暖房が音声で可能に
<https://www.noritz.co.jp/company/news/2019/20190122-003429.html>